

「資金移動口座への貸金支払いが可能となった 場合のニーズ等」に関するアンケート調査 〔使用者（事業者）アンケート〕

2019年7月4日
コンプライアンス分科会 事務局

※調査結果の全体版については、Fintech協会HPに掲載
<https://www.fintechjapan.org/news/1890/>

調査概要

【アンケート依頼対象】 計377社
Fintech協会員（個人会員除く）・・・370社
日本資金決済業協会員かつ2019年2月1日の事業者会議に参加の企業
（Fintech協会員除く）・・・7社

【アンケート回答期間】

送付日 2019年2月13日

回答期限 2019年2月20日

【アンケート回答社数】 計52社〔回答率：約14%〕

Fintech協会員 46社（ベンチャー会員26社・法人会員20社）

日本資金決済業協会員 6社（Fintech協会未加入）

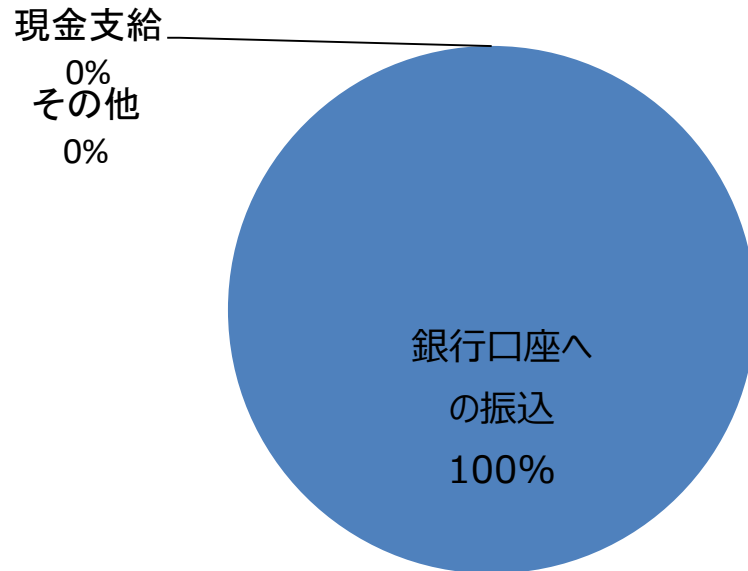
【調査内容】

- 給与支払いに関する実態
- 資金移動口座への賃金支払いのニーズ

給与支払いに関する実態：①支払方法

Q. 貴社の従業員等への給料支払い方法は何でしょうか？

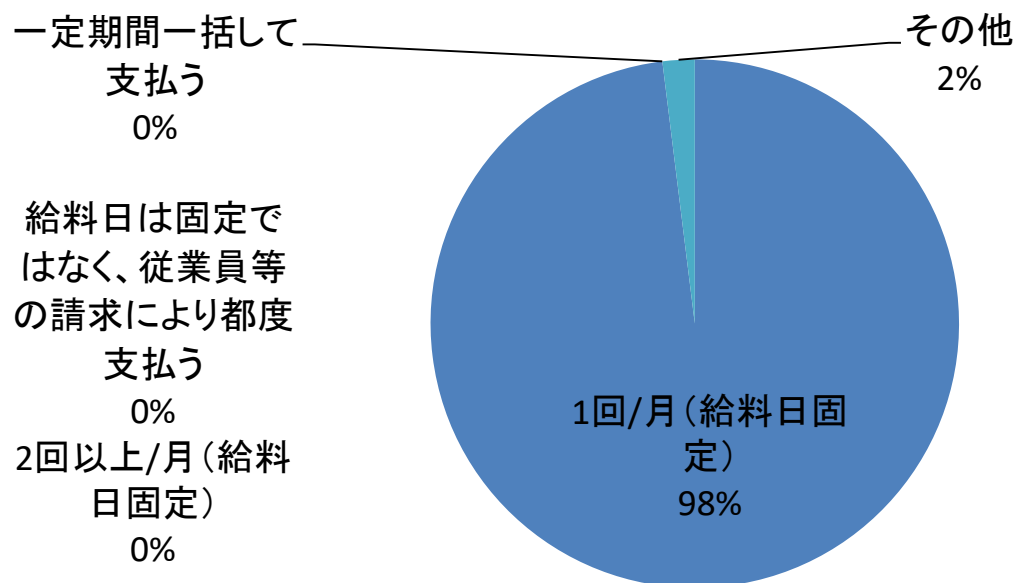
回答（択一）	回答社数
銀行口座への振込	52
現金支給	0
その他	0



Q. 貴社の従業員等への給料の支払い回数／月を教えてください

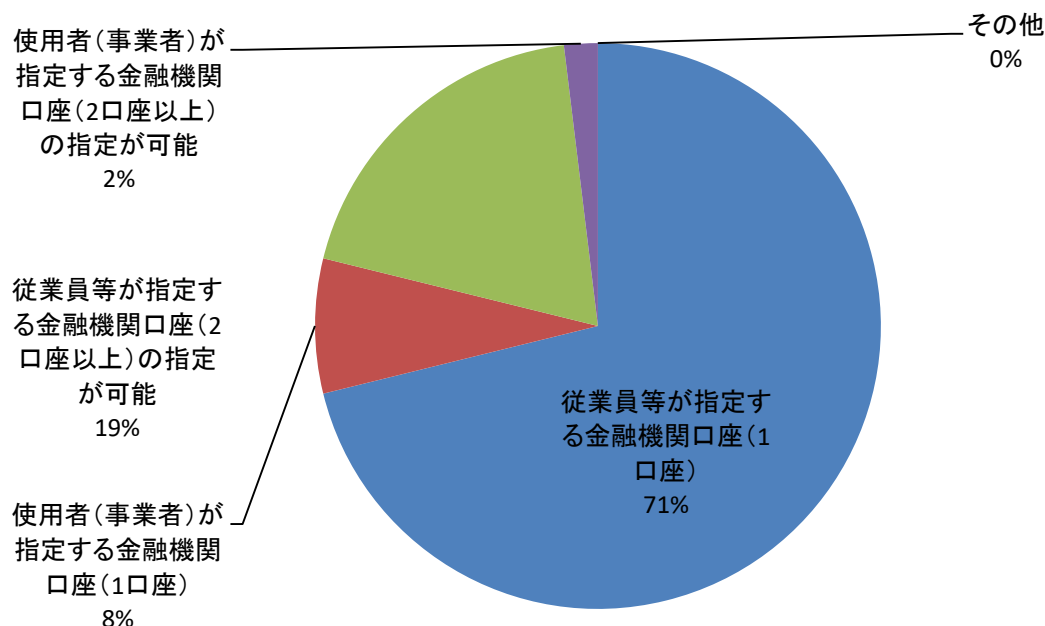
回答（択一）	回答社数
1回/月（給料日固定）	51
2回以上/月（給料日固定）	0
一定期間一括して支払う	0
給料日は固定ではなく、従業員等の請求により都度支払う	0
その他	1

その他 ・基本は1回/月 オンデマンドでの都度払いも可能（弊社アプリ使用）



Q. 貴社の従業員の支払先金融機関は、事前申請でいくつ指定できますでしょうか？

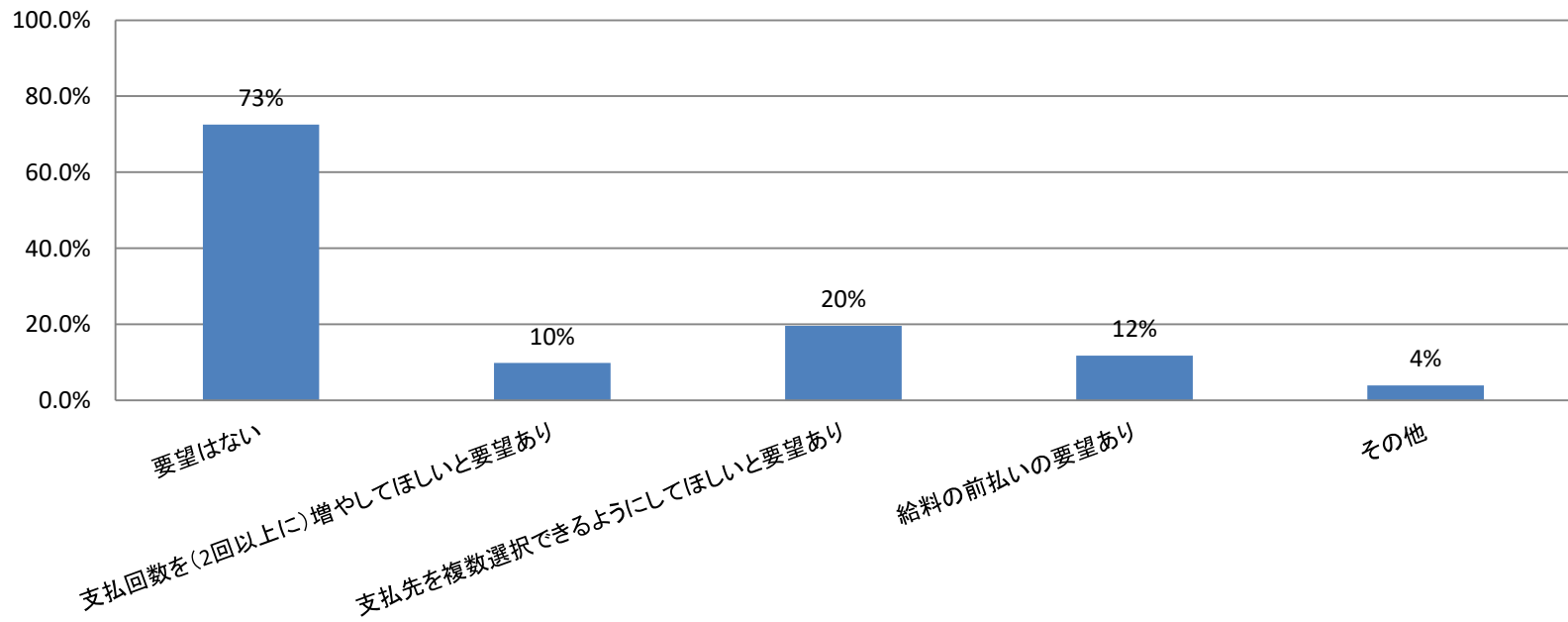
回答（択一）	回答社数
従業員等が指定する金融機関口座（1口座）	37
使用者（事業者）が指定する金融機関口座（1口座）	4
従業員等が指定する金融機関口座（2口座以上）の指定が可能	10
使用者（事業者）が指定する金融機関口座（2口座以上）の指定が可能	1
その他	0



給与支払いに関する実態：④要望

Q. 従業員等から給料の支払い方について要望を受けていますか？

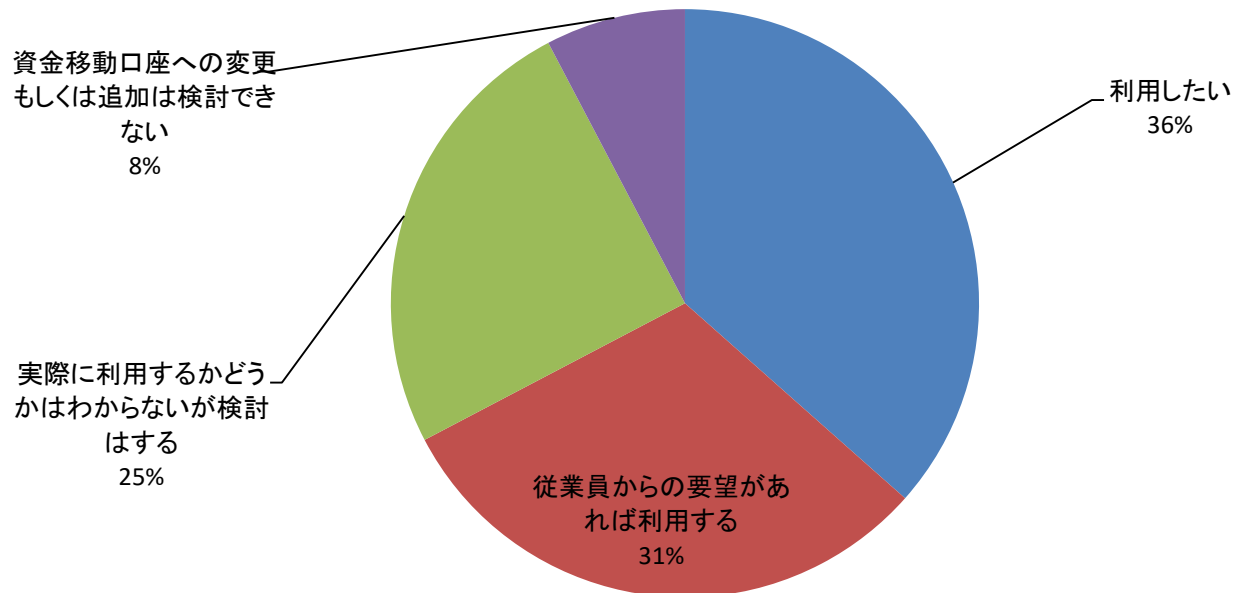
回答（複数回答可）	回答社数
要望はない	37
支払回数を（2回以上に）増やしてほしいと要望あり	5
支払先を複数選択できるようにしてほしいと要望あり	10
給料の前払いの要望あり	6
その他	2
その他： ・給料の前払いの要望あり；電子決済アプリやSuicaなどへの直接連携など ・要望を聞いていないのでわからない	



資金移動口座への貸金支払いのニーズ：①利用意向

Q. 規制緩和により資金移動口座へ貸金の支払いが可能となった場合は、利用したいと思いますか？

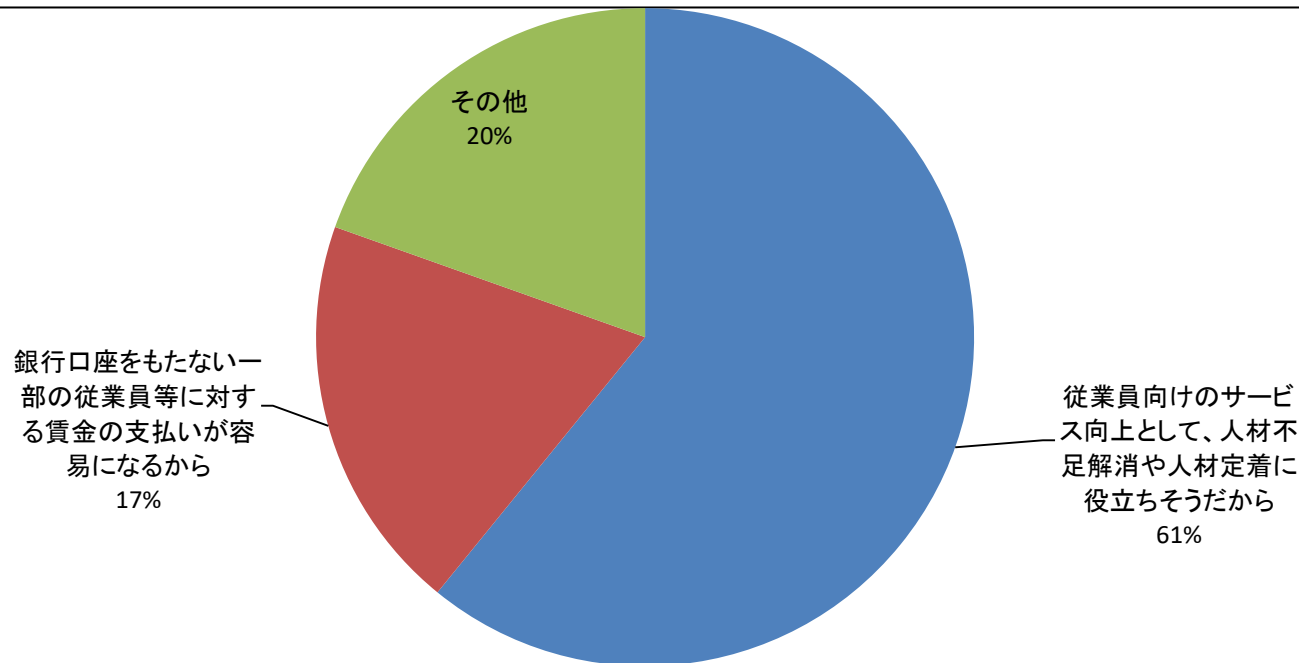
回答（択一）	回答社数
利用したい	19
従業員からの要望があれば利用する	16
実際に利用するかどうかはわからないが検討はする	13
資金移動口座への変更もしくは追加は検討できない	4



資金移動口座への賃金支払いのニーズ：②利用理由

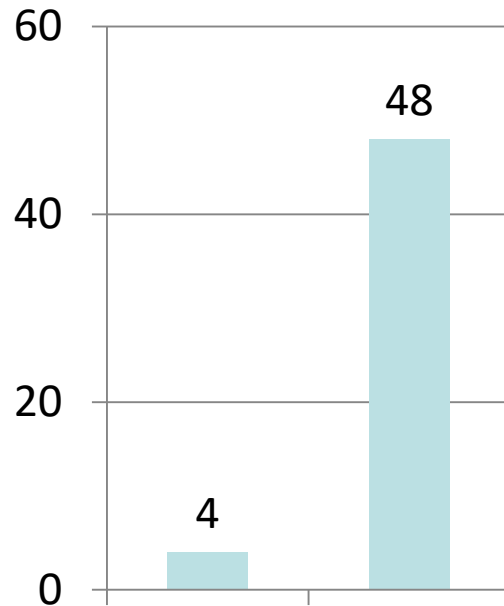
Q. 利用したい又は検討してみようと思う理由をお聞かせください。

回答（複数回答可）	回答社数
従業員向けのサービス向上の一環として、人材不足の解決や人材の定着に役立ちそうだから	28
外国人など銀行口座をもたない一部の従業員や現金手渡しとなっている従業員に対する賃金の支払いが容易になるから	9
その他	9
その他： 次ページ	



まとめ①：資金移動口座への給与支払いについて

- 92%の事業者が前向きに考えている（利用・要望があれば利用・検討）
- 利用・検討の理由は、従業員へのサービス向上（福利厚生）や、人材確保など



具体的な利用・検討の理由	% (※)
従業員向けのサービス向上の一環 人材不足の解決・人材の定着に役立ちそうだから	61
利用者側の利便向上 外国人など銀行口座をもたない従業員に対する賃金の支払いが容易になるから	20

(※) 利用・検討すると回答した47企業のうちの割合

変更・追加検討不可
利用・検討

まとめ②：人材確保に給与支払多様化ニーズ

- 現在、良い人材の確保に向けて注力していることについて、8%で最も回答の少なかった給与・賞与支払いの多様化だが、今後注力したいことの回答では27%に上昇しており、給与・賞与支払い多様化のニーズが高まっている

